

保育活動における即興演奏の習得方法に関する一考察 ～絵本の内容を子ども達の活動に見立てて～

A Study of learning Method for Improvisation in Childcare Activities
～Make the Contents of Picture book look like Children's Activities～

木村 貴子* 野田頭 彩夏**
小笠原 愛梨** 嶋元 ひまり**
Takako KIMURA* Sayaka NOTAGASHIRA**
Airi OGASAWARA** Himari SHIMAMOTO**

*青森中央短期大学幼児保育学科 **青森中央短期大学幼児保育学科50期生

*Department of Infant Education, Aomori Chuo Junior College

**50th Graduating Class, Department of Infant Education, Aomori Chuo Junior College

Key words ; 即興演奏、保育者、保育活動、ピアノ演奏

1. はじめに

本研究は、平成29年度青森中央短期大学紀要にて述べた即興演奏の指導方法¹に引き続き、演奏者を「保育者」、演奏する場面を「保育活動」に設定し、その中で活用できる即興演奏の習得方法について提示するものである。

保育活動では、その時その瞬間に保育者がどのように子ども達を捉え、支援していくのかによって、その後の活動における展開は左右する。即興演奏には子ども達へ保育者のイメージを伝えるだけでなく、保育者もまた子ども達から得たイメージを融和させ、その場の雰囲気に合わせて子ども達と一緒に活動を展開することができるという利点がある。また、即興演奏を用いた活動は、子どもが自分で感じたり考えたりしたことを独創的な活動や自由な表現あそびによって表現することができ、創造性を高めることができる可能性を持つ²。

本稿では、保育活動の中で活用できる即興演奏を「効果音」と「身体活動時やBGMとして活用できる伴奏」の2つに大きく捉え、これらの即興演奏に関する習得方法について考察する。また、子ども達を前に自由に即興演奏ができるようになるためには実践体験を何度も重ねていく必要があるが、絵本の内容を子ども達の活動や情緒面、保育場面の雰囲気に見立てて練習することで、短期間で技術を身に付けるための流れや演奏時の身体的感覚を得ることとする。使用する楽器はピアノ（キーボード）である。

尚、本稿における作曲作品及び即興演奏例は、学内で行われた令和2年度幼児保育学科特別研究発表会の中で発表・即興演奏されたものを採譜し、掲載している。

2. 即興演奏における音楽的アイデアについて

創作や即興演奏は、決して何も無い所に生まれて来るものではなく、その人の記憶（意識されているものも感覚的或いは生理的なものも含めて）の中にある様々な構想の組み立て直しであり、再構成に過ぎない³。つまり、即興演奏をする際に必要なのは、奏者がそれまでに記憶した音楽的アイデアと、それらを楽器演奏に繋げるための技術である。

本稿では、即興演奏時に用いる音楽的アイデアを、「音程」「音階」「和声的機能」「演奏のバリエーション」の4つに絞り、これらを記憶することで、即興演奏時の構想の組み立てに意識的に用いることとする。

3. 効果音

効果音とは、ある動作や場面に合ったイメージを強調するための音である。保育活動においては、子ども達の動きに合わせて効果音を演奏したり、規則的なリズムの中に効果音を入れ込むことで身体活動をサポートすることに繋がると考える。また、音の組み合わせによって、楽しさや悲しさといった感情や、明るさや暗さ、美しさといった様々な情景を連想することにも繋がり、イメージの世界に入ることが出来ると考える。

ピアノで効果音を創作する際、まずは2つの音の重なりから成る「音程」を基本として用いる。各音程のもつ響きにはそれぞれ特徴があり、それらの音の響きから連想されるイメージが効果音として捉えやすい。音程から得られる音の響きのイメージ（例）を整理する（表1）。

音の響きから連想するイメージには個人差があると思うが、大切なのは、演奏者自身が感じる各音程から成る音の響きのイメージをしっかりと記憶することである。どの音程からどのイメージを得ることができるのか、またその逆をリンクしておくことによって、即興時に瞬時に音楽的アイデアとして音程を活用することができるようになる。

(表1)

音程	音 (Cを基本音として)	音の響きのイメージ (例)
短2度	C, D \flat	恐怖 圧迫感 不気味
長2度	C, D	明るい 楽しい 不思議な
短3度	C, E \flat	悲しい 不思議な 不気味な
長3度	C, E	楽しい 調和的な 平和的な
完全4度	C, F	堂々とした 広がりのある 安定した
増4度/減5度	C, F \sharp / C, G \flat	不安な 焦り 驚き 怪しい
完全5度	C, G	安定感 安心感 調和した
短6度	C, G \sharp (C, A \flat)	不安な 焦り 緊迫感 恐怖 絶望感 怪しい
長6度	C, A	明るい 開放的な ワクワクした
短7度	C, B \flat	怪しい 不思議な 不安定な
長7度	C, B	イライラした 怒り 不気味な 不協な
完全8度	C, オクターブ上のC	安定感 明るい 昇華した

(表1)では、Cを基本の音として音程を示したが、音程を作る際の基本の音を12キー (C, D \flat , D, E \flat , E, F, F \sharp , G, G \sharp , A, B \flat , B) それぞれに変えることで響きのバリエーションが広がり、それらを組み合わせることで更に音楽的アイデアを得ることができる。

4. 演奏のバリエーション

音の響きのイメージは、鍵盤上で奏者が強く、あるいは弱く演奏するなど、その演奏方法によっても変化する。演奏のバリエーションの一部について表にまとめる (表2)。たった1つの音楽的アイデアでも、様々な奏法で演奏してみることで、イメージは更に広がる。

音程について理解し、イメージと鍵盤上での音がリンクするようになったら、演奏のバリエーションを加えて鍵盤上で思いっきり遊んでみることを推奨する。その全てが音程を扱った即興時の音楽的アイデアとなり、音程と演奏のバリエーションの組み合わせを変えるだけでも、様々な効果音を創作することができる事が分かる。

(表2)

バリエーション	意味	記号
音の長さ	短い	staccato(stacc.)
	長い	tenuto(ten.)
音の速さ	遅い	Lento、Largo、Adagio
	少し遅く	Larghetto、Andante、Andantino
	中くらい	Moderato
	少し速く	Allegretto
	速く	Allegro、Vivace、Presto
音の強さ	非常に弱く	pp (pianissimo)
	弱く	p (piano)
	やや弱く	mp (mezzo piano)
	やや強く	mf (mezzo forte)
	強く	f (forte)
	非常に強く	ff (fortissimo)
	だんだん強く	crescendo (cresc.)、<
	だんだん弱く	decrescendo (decresc.)、diminuendo(dim.)、>

出典：石桁真礼生 他『楽典』音楽之友社、1965年、149～158頁。

※上記の他、演奏のバリエーションには音の高さや低さに変化をもたせるなど、多数考えられる。

5. 音階

音階は、音程を規則的に並べたものである。音階の一部について表にまとめる（表3）。各音階によって音程の並び順は決まっているため、演奏するだけで、その音階のもつ響き（イメージ）を出すことができる。音階の音を使って短く演奏すれば効果音となり、演奏の尺に長さをもたせることでBGMとして用いることもできる。

(表3)

音階名	音の並び (音程の並び)	音の響きのイメージ (例)
長音階 メジャー・スケール アイオニアン・スケール	C, D, E, F, G, A, B, C (長 2, 長 2, 短 2, 長 2, 長 2, 長 2, 短 2)	明るい、楽しい、平和な
自然的短音階 ナチュラル・マイナー・ スケール エオリアン・スケール	C, D, E \flat , F, G, A \flat , B \flat , C (長 2, 短 2, 長 2, 長 2, 短 2, 長 2, 長 2)	悲しい、寂しい、暗い
和声的短音階 ハーモニック・マイナー・ スケール	C, D, E \flat , F, G, A \flat , B, C (長 2, 短 2, 長 2, 長 2, 短 2, 短 3, 短 2)	悲しい、不思議な、エキゾチックな
旋律的短音階 メロディック・マイナー・ スケール	上行形: C, D, E \flat , F, G, A, B, C (長 2, 短 2, 長 2, 長 2, 長 2, 長 2, 短 2) 下行形: C, B \flat , A \flat , G, F, E \flat , D, C (長 2, 長 2, 短 2, 長 2, 長 2, 短 2, 長 2)	悲しい、不思議な、不安定な
全音音階 ホールトーン・スケール	C, D, E, F \sharp , G \sharp , A \sharp , C C \sharp , D \sharp , F, G, A, C \sharp , D \sharp (全て長 2)	不思議な、幻想的な、掴みどころのない、メルヘンチックな
五音音階、呂音階 ヨナ抜き音階 ペンタトニック・スケール スコットランド音階	C, D, E, G, A, C (長 2, 長 2, 短 3、長 2, 短 3)	明るい、開放的な、童謡風な、昔話風な
半音階 クロマティック・スケール	C, D \flat , D \sharp , E \flat , E \sharp , F, F \sharp , G, A \flat , A \sharp , B \flat , B \sharp , C B \sharp , C ※下降もある (全て短 2)	上昇する、下降する、転がる、動きのある
律音階	C, D, F, G, A, C (長 2, 短 3, 長 2, 長 2, 短 3)	明るい、元気な、演歌風な
陽音階	C, D, F, G, B \flat , C (長 2, 短 3, 長 2, 短 3, 長 2)	明るい、開放的な、民謡風な
陰音階 都節音階	C, D \flat , F, G, A \flat , C (短 2, 長 3, 長 2, 短 2, 長 3)	和風な、古風な、演歌風な
ジブシー音階 ダブル・ハーモニック・ スケール	C, D, E \flat , F \sharp , G, A \flat , B, C (長 2, 短 2, 短 3, 短 2, 短 3, 短 2)	不思議な、アラビアン風な、エキゾチックな

民謡音階	C, E \flat , F, G, B \flat , C (短 3, 長 2, 長 2, 短 3, 長 2)	ブルージーな、民謡風な
琉球音階	C, E, F, G, B, C (長 3, 短 2, 長 2, 長 3, 短 2)	沖縄風な、民謡風な
ドリアン・スケール	C, D, E \flat , F, G, A, B \flat , C (長 2, 短 2, 長 2, 長 2, 長 2, 短 2, 長 2)	悲しい、不安定な、掴みどころのない
フリジアン・スケール	C, D \flat , E \flat , F, G, A \flat , B \flat , C (短 2, 長 2, 長 2, 長 2, 短 2, 長 2, 長 2)	不思議な、エキゾチックな、物語風な
リディアン・スケール	C, D, E, F \sharp , G, A, B, C (長 2, 長 2, 長 2, 短 2, 長 2, 長 2, 短 2)	開放的な、不思議な、明るい、メルヘンチックな
ミクソリディアン・スケール	C, D, E, F, G, A, B \flat , C (長 2, 長 2, 短 2, 長 2, 長 2, 短 2, 長 2)	明るい、元気な、活発な
ロクリアン・スケール	C, D \flat , E \flat , F, G \flat , A \flat , B \flat , C (短 2, 長 2, 長 2, 短 2, 長 2, 長 2, 長 2)	エキゾチックな、幻想的な、不安定な

応用として、後で述べる和声的機能を活用した左手による伴奏の中で、右手で効果音やメロディーを創作する際に音階を音楽的アイデアとして用いることもできる。奏者が各音階の持つ響きのイメージを記憶しておくことにより、楽曲を創作する際、奏者の意図する響き（イメージ）に近い音階を瞬時に選んで演奏することができる。

6. 身体活動やBGMとして活用できる伴奏

保育活動には、子ども達の身体機能をあそびの中で促進させ、その成長を支援するという側面もある。歩く、走る、ジャンプする、スキップする、バランスを取る、動きを止めるなど、各発達過程に応じた身体活動に簡単な伴奏を付けることで、子ども達は次の動きを音や音楽を聴くことで予測することができる。また、伴奏におけるリズムやテンポを共有することで、その動きのイメージを捉えることに繋がり、身体活動を展開する際の支えとなる。その他、午睡の前後や次の活動に移る際など、各場面に見合ったBGMを設定することで、子ども達の気持ちの切り替えをスムーズに促すことができると考える。

即興でこれらの伴奏やBGMを演奏する際、簡単なコード進行を記憶していると、奏者はリズムやテンポ、メロディー等に変化を持たせながら、その枠組みの中で自由に即興演奏を展開することができるようになる。本稿では、まず基本となる和声の機能「T：トニック」「D：ドミナント」「S：サブドミナント」（表4）を理解した上で、それらの組み合わせを、①「T-D-T」②「T-S-T」③「T-S-D-T」④「①～③の組み合わせ」の4つに設定し、その中で自由に作曲することで、即興時の音楽的アイデアや構想を得ることとした。

③ 「T - S - D - T」

④ 「①～③の組み合わせ」

以上のように、最も基本となる和声的機能を使って自由に作曲した後は、即興で楽譜を見ずに演奏

してみるとという練習をする。頭の中で組み立てた和声的機能の中で、自分のイメージするリズムやテンポ、メロディーを即興で瞬時に演奏できるようになるには時間を要するが、その段階に入る前に、同じ課題に対して時間をかけて幾通りも作曲をしてみるという経験をしておくと、即興時には自分なりに考えた音楽的アイディアの記憶が断片的に表れ、それらをベースに即興ができるようになる。応用として、更に他の調でも作曲をしてみたり、使用していないⅡ、Ⅲ、Ⅴ7、Ⅵ、Ⅶもアレンジに加えると、より響きの豊かな曲ができ、それらを音楽的アイディアとした即興演奏もできるようになる。

参考として、和声的機能を用いた際の、4つの調における使用コードをまとめる（表5）。

（表5）

調	T トニック	D ドミナント	S サブドミナント
ハ長調	I = C, VI = Am, III = Em	V = G, V7 = G7, VII = Bm ♭ 5, III = Em	IV = F, II = Dm
ニ長調	I = D, VI = Bm, III = F#m	V = A, V7 = A7, VII = C#m ♭ 5, III = F#m	IV = G, II = Em
ヘ長調	I = F, VI = Dm, III = Am	V = C, V7 = C7, VII = Em ♭ 5, III = Am	IV = B ♭, II = Gm
ト長調	I = G, VI = Em, III = Bm	V = D, V7 = D7, VII = F#m ♭ 5, III = Bm	IV = C, II = Am

7. 絵本による即興演奏の練習

即興演奏をする際の音楽的アイディア「音程」「音階」「和声的機能」「演奏のバリエーション」の4つについて理解し、鍵盤上でイメージした音の響きが掴めるようになったら、それらを応用するために絵本を子ども達の活動に見立てて即興演奏の練習を行う。

本稿では、子ども達の「感情表現」「身体表現」や、保育活動における「場面の雰囲気（BGM）」「（なりきり遊び等での）キャラクターのイメージ」「効果音」等を想定し、5冊の絵本を用いて即興演奏の練習を行った。各絵本の場面において連想されるイメージ（例）と、実際に即興演奏において用いた音楽的アイディアを表にまとめる（表7）。

（表7）

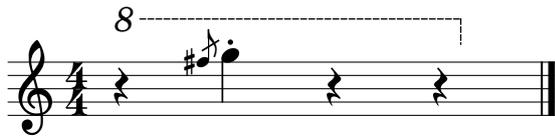
絵本タイトル・場面	連想されるイメージ（例）	即興時に用いた音楽的アイディア
『たべてあげる』 ⁴ <ul style="list-style-type: none"> 小さな男の子が出てくる 小さな男の子が大きくなる 男の子が野菜を嫌がる～食べられてしまう～食べられてしまった 	<ul style="list-style-type: none"> 小さな何かが突然現れる、ポーズを決める だんだん大きなものに変身していく 嫌なものを放り投げる動作～驚き、緊張、恐怖～「バクッ」と食べられる 	譜面 2-1：短2度、軽く短く ※以降、「譜面 2-」を省略 2：短2度から音程を半音ずつ広げていく、だんだん速く強く 3：短2度～短2度、低音で、強く、長く～短2度、低音で、強く、短く

<ul style="list-style-type: none"> ・穴の中に転がり落ちていく ・泣きじゃくり、反省している ・偽物の主人公が横行している ・ストーリーの終わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・下へ下へ転がり落ちる動作、恐怖 ・悲しみ、後悔、反省 ・ずる賢い、卑怯な、悪者の登場 ・おしまいの合図 	<p>4:半音階</p> <p>5:T-D-T(ハ短調)、増4度、弱く</p> <p>6:T-D-T、増4度、やや弱く</p> <p>7:短2度、完全8度、やや強く</p>
<p>『グリーンマンのピーマンマン』⁵</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沢山のバイ菌が窓からやってくる (p 18、19) ・ピーマンマンがバイ菌に攻撃する (p 22~25) 	<ul style="list-style-type: none"> ・何かが増殖していく、何かが迫ってくる、恐怖 ・走る～ジャンプの動作 ・ケンケンパ～キックの動作 ・走る～止まってビームのポーズ 	<p>8:和声的短音階、だんだん強く、だんだん速く</p> <p>9:T-D-T (ハ長調)</p> <p>10:T (ト長調)、短2度</p> <p>11:T (ハ長調)、半音階</p>
<p>『くまくんおきて!』⁶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライオンの登場 ・リスの登場 ・サルの登場 ・猫の登場 ・ゾウの登場 ・ヘビの登場 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな、堂々とした ・小さな、すばしっこい ・ひょうきんな、明るい ・お洒落な、可愛らしい ・大きな、重い、ゆっくりした ・クネクネした、滑るような 	<p>12:T-D-T (ハ長調)、琉球音階、やや強く、遅く</p> <p>13:律音階、速く</p> <p>14: T-D-T (ハ長調)、ミクソリディアン・スケール</p> <p>15: T-D-T (ハ長調)、リディアン・スケール、やや速く、軽く</p> <p>16: T-D-T (ハ長調)、民謡音階、やや強く、遅く</p> <p>17:半音階</p>
<p>『バナナじけん』⁷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バナナが通りに1本だけポツンと落ちている 	<ul style="list-style-type: none"> ・のんびり、間の抜けた場面、次を予感させる 	<p>18:T-D-T (ハ長調)、増4度、やや遅く</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・通りにサルが登場する～バナナに気づく ・バナナを食べてから皮を放り投げる～歩いて行ってしまふ ・手足の長いウサギが走って登場する ・ウサギがバナナの皮に滑って転ぶ ・ゆっくりとワニが歩いて登場する ・ワニが背中にバナナの皮をひょろっと乗せる 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ場面の中で、何かに気づく ・同じ場面の中で、食べる、ものを放り投げるなど、とっさの動作をする ・忙しい、慌てた場面、次を予感させる ・同じ場面の中で、滑る、転ぶなどの急な動作をする ・重くてゆっくりとした動き、次を予感させる ・同じ動きの中で、皮をひょいと乗せる急な動作 	<p>19:T-D-T (ハ長調)、短 2 度、やや遅く</p> <p>20:T-D-T (ハ長調)、増 4 度、短 2 度、やや遅く</p> <p>21:T-D-T (ハ長調)、増 4 度、やや速く</p> <p>22:T-D-T、半音階 (下降)、短 2 度、やや速く</p> <p>23:T-D-T (ト長調)、短 2 度、増 4 度</p> <p>24:T-D-T (ト長調)、半音階 (上行) 増 4 度</p>
<p>『パパ、お月さまとつて!』⁸</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幻想的な風景が流れている (絵本最初の場面) ・長いはしごを絵本を開いて見せる ・上へ上へはしごを登っていく ・大きなお月様が絵本を広げると現れる ・お月様が少しずつ小さくなっていく～ストーリーの終わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・可愛らしい、夢見がちな、ワクワクした ・とても長い、まだまだ続く ・一步一步上へ登っていく動作 ・幻想的、美しい、キラキラ輝いている ・少しずつ小さくなっていく様子～おしまいの合図 	<p>25:T(ニ長調)、ミクソリディアン・スケール</p> <p>26:半音階</p> <p>27: 短 3 度、だんだん速く</p> <p>28:ホールトーン・スケール</p> <p>29:半音階 (下降)、弱く、だんだん遅く～長 2 度、とても弱く</p>

また、即興演奏例として、(表 7) に示した音楽的アイデアを基に、実際に絵本の読み聞かせに合わせて即興演奏されたものを採譜し、提示する (譜面 2 - 1 ~ 29)。

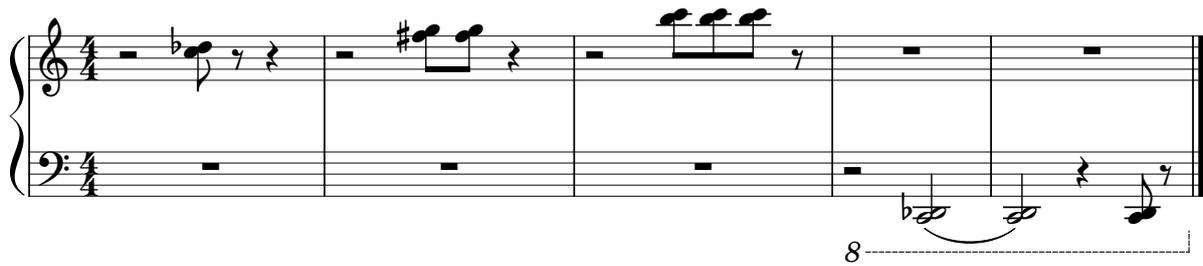
(譜面 2 - 1) 短 2 度、軽く、短く



(譜面 2 - 2) 短 2 度から音程を半音ずつ広げていく、だんだん速く強く



(譜面 2 - 3) 短 2 度～短 2 度、低音で、強く、長く～短 2 度、低音で、強く、短く



(譜面 2 - 4) 半音階



(譜面 2 - 5) T - D - T (ハ短調)、増 4 度、弱く

Musical score for exercise 2-5. It is in 3/4 time and F minor. The piece consists of four measures. The first measure has a piano (*p*) dynamic. The melody in the right hand starts with a half note chord (F4, A4) and moves to a dotted half note chord (F4, A4, C5) in the second measure. The bass line consists of quarter notes: F3, A3, C4, and F3.

(譜面 2 - 6) T - D - T、増 4 度、やや弱く

Musical score for exercise 2-6. It is in 4/4 time and F minor. The piece consists of four measures. The first measure has a mezzo-piano (*mp*) dynamic. The melody in the right hand features eighth-note chords: F4-A4, F4-A4, G4-B4, and F4-A4. The bass line consists of quarter notes: F3, A3, C4, and F3.

(譜面 2 - 7) 短 2 度、完全 8 度、やや強く

Musical score for exercise 2-7. It is in 4/4 time and F minor. The piece consists of four measures. The melody in the right hand has a half rest, followed by quarter notes G4, A4, and B4. The bass line has a whole rest, followed by a quarter note F3.

(譜面 2 - 8) 和声的短音階、だんだん強く、だんだん速く

Musical score for exercise 2-8. It is in 4/4 time and F minor. The piece consists of four measures. The melody in the right hand is an ascending eighth-note scale: F4, G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4. The bass line is a steady eighth-note accompaniment: F3, A3, C4, F3, A3, C4.

(譜面 2 - 9) T - D - T (へ長調)

(譜面 2 - 10) T (ト長調)、短 2 度

(譜面 2 - 11) T (ハ長調)、半音階

(譜面 2 - 12) T - D - T (ハ長調)、琉球音階、やや強く、遅く

(譜面 2-13) 律音階、速く

Musical score for exercise 2-13, featuring a rhythmic pattern of eighth notes in both hands. The score is in 4/4 time and consists of two staves. The right hand plays a sequence of eighth notes, while the left hand plays a similar sequence. The exercise is marked with a tempo of '速く' (Allegretto).

(譜面 2-14) T-D-T (ハ長調)、ミクソリディアン・スケール

Musical score for exercise 2-14, featuring a T-D-T pattern in G major and a Mixolydian scale. The score is in 4/4 time and consists of two staves. The right hand plays a sequence of eighth notes, while the left hand plays a similar sequence. The exercise is marked with a tempo of 'やや速く、軽く' (Allegretto, light).

(譜面 2-15) T-D-T (ハ長調)、リディアン・スケール、やや速く、軽く

Musical score for exercise 2-15, featuring a T-D-T pattern in G major and a Lydian scale. The score is in 4/4 time and consists of two staves. The right hand plays a sequence of eighth notes, while the left hand plays a similar sequence. The exercise is marked with a tempo of 'やや速く、軽く' (Allegretto, light).

(譜面 2-16) T-D-T (ハ長調)、民謡音階、やや強く、遅く

Musical score for exercise 2-16, featuring a T-D-T pattern in G major and a folk scale. The score is in 4/4 time and consists of two staves. The right hand plays a sequence of eighth notes, while the left hand plays a similar sequence. The exercise is marked with a tempo of 'やや強く、遅く' (Allegretto, strong).

(譜面 2 - 17) 半音階 (上の音符を右手、下の音符を左手で演奏する)

Musical score for exercise 2-17, a chromatic scale exercise. It consists of two systems of two staves each. The first system shows the right hand (treble clef) playing a chromatic scale from C4 to G5, and the left hand (bass clef) playing a chromatic scale from G3 to C5. The second system shows the right hand playing a chromatic scale from G5 down to C4, and the left hand playing a chromatic scale from C5 down to G3. The key signature has one sharp (F#) and the time signature is 4/4.

(譜面 2 - 18) T - D - T (ハ長調)、増4度、やや遅く

Musical score for exercise 2-18, T-D-T in C major. It consists of two staves. The right hand (treble clef) has whole rests for the first three measures and a whole note chord of C major in the fourth measure. The left hand (bass clef) plays a rhythmic pattern of quarter notes: C, E, G, C. The key signature has one sharp (F#) and the time signature is 4/4.

(譜面 2 - 19) T - D - T (ハ長調)、短2度、やや遅く

Musical score for exercise 2-19, T-D-T in C major. It consists of two staves. The right hand (treble clef) has whole rests for the first three measures and a whole note chord of C major in the fourth measure. The left hand (bass clef) plays a rhythmic pattern of quarter notes: C, E, G, C. The key signature has one sharp (F#) and the time signature is 4/4.

(譜面 2 - 20) T - D - T (ハ長調)、増4度、短2度、やや遅く

Musical score for exercise 2-20, T-D-T in C major. It consists of two staves. The right hand (treble clef) has whole rests for the first three measures and a whole note chord of C major in the fourth measure. The left hand (bass clef) plays a rhythmic pattern of quarter notes: C, E, G, C. The key signature has one sharp (F#) and the time signature is 4/4.

(譜面 2 - 21) T - D - T (ハ長調)、増 4 度、やや速く

Musical score for exercise 2-21, T-D-T in C major, augmented 4th interval, tempo: moderately fast. The score is in 4/4 time. The right hand has a whole note chord of G4 and B4 in the first measure, followed by a whole rest, and then a whole note chord of G4 and B4 in the third measure. The left hand has a steady eighth-note bass line: C3, D3, E3, F3, G3, A3, B3, C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5.

(譜面 2 - 22) T - D - T、半音階 (下降)、短 2 度、やや速く

Musical score for exercise 2-22, T-D-T with descending half-step and minor 2nd interval, tempo: moderately fast. The score is in 4/4 time. The right hand has a whole rest in the first measure, followed by a descending eighth-note scale: G4, F4, E4, D4, C4, B3, A3, G3. The left hand has a steady eighth-note bass line: C3, D3, E3, F3, G3, A3, B3, C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5.

(譜面 2 - 23) T - D - T (ト長調)、短 2 度、増 4 度

Musical score for exercise 2-23, T-D-T in C minor, minor 2nd interval, augmented 4th interval. The score is in 4/4 time. The right hand has a whole rest in the first measure, followed by a whole note chord of G3 and B3 in the third measure. The left hand has a steady eighth-note bass line: C3, D3, E3, F3, G3, A3, B3, C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5.

(譜面 2 - 24) T - D - T (ト長調)、半音階 (上行)、増 4 度

Musical score for exercise 2-24, T-D-T in C minor, ascending half-step and augmented 4th interval. The score is in 4/4 time. The right hand has a whole rest in the first measure, followed by an ascending eighth-note scale: G4, A4, B4, C5, D5, E5, F5, G5. The left hand has a steady eighth-note bass line: C3, D3, E3, F3, G3, A3, B3, C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5.

(譜面 2 - 25) T (ニ長調)、ミクソリディアン・スケール

Musical score for exercise 2-25, T in D major, Mixolydian scale. The score is in 4/4 time. The right hand has a steady eighth-note scale: D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4. The left hand has a steady eighth-note bass line: D3, E3, F3, G3, A3, B3, C4, B3, A3, G3, F3, E3, D3.

(譜面 2 - 26) 半音階

Musical score for exercise 2-26, a half-step scale in 4/4 time. The piece consists of two staves. The right hand plays a half-step scale starting on G4, moving up through the octave. The left hand plays a half-step scale starting on G3, moving up through the octave. The key signature has one sharp (F#), and the time signature is 4/4.

(譜面 2 - 27) 短3度、だんだん速く

Musical score for exercise 2-27, short 3rd intervals, gradually faster. The piece consists of two staves in 2/4 time. The right hand plays a sequence of short 3rd intervals starting on G4. The left hand plays a sequence of short 3rd intervals starting on G3. The key signature has one flat (Bb), and the time signature is 2/4.

(譜面 2 - 28) ホールトーン・スケール

Musical score for exercise 2-28, whole-tone scale in 4/4 time. The piece consists of two staves. The right hand plays a whole-tone scale starting on G4, moving up through the octave. The left hand plays a whole-tone scale starting on G3, moving up through the octave. The key signature has two sharps (F# and C#), and the time signature is 4/4.

(譜面 2 - 29) 半音階 (下降)、弱く、だんだん遅く~長2度、とても弱く

Musical score for exercise 2-29, descending half-step scale, weak, gradually slower, long 2nd interval, very weak. The piece consists of two staves in 4/4 time. The right hand plays a descending half-step scale starting on G5, moving down through the octave. The left hand plays a descending half-step scale starting on G4, moving down through the octave. The key signature has two sharps (F# and C#), and the time signature is 4/4. A fermata is placed over the final notes of both staves.

8. おわりに

以上の流れで音楽的アイデアを記憶し、また、絵本をモチーフに即興演奏の練習を繰り返し行うことで、保育活動における様々なシチュエーションに対し、瞬時に音楽的アイデアや構想を掴んで即興演奏に活かすことができると考える。また、絵本の中の印象的なイメージと、それに対する即興演奏をセットで記憶することができるため、自分の得意な演奏パターンを整理して記憶することができ、保育活動においてイメージを瞬時に音にする際に役立つ。

保育活動における即興演奏を学ぶとき、奏者はどのような手順で何を学び、練習はどのように行えばよいのか困惑する場合がある。無限に考える子ども達の活動のパターンに対し、制限なく自由に演奏できる即興演奏を組み合わせることができるようになるには、保育者としての保育経験と演奏者としての演奏経験のどちらも必要となるからだ。即興の指導やその習得におけるこれらの難しさに対し、本稿では一つのメソッドとして「音楽的アイデアや構想の記憶」と、「絵本の内容を子ども達の活動に見立てた即興演奏の練習」を提示する。

楽譜に書かれている音符を読んで決まったものを演奏する代わりに、子ども達の活動からイメージを得て自分の中にある音楽的アイデアや構想を引っ張り出して演奏するのは冒険である。保育者の演奏に対し、子ども達がどのような反応を見せるのかは、やってみなければ分からない。最初はうまくいかなくても、練習と実践を続けていくことで、より子ども達に寄り添った保育活動を展開することができるのではないかという希望を持ち続け、音や音楽を自由に創作できる即興演奏を楽しみながら習得してほしい。

音楽で子ども達とコミュニケーションをとることが出来たとき、保育者は即興演奏に喜びとやりがいを感じるにちがいない。

【注】

- 1 木村貴子「即興演奏の指導方法に関する一考察－学生によるジャズ演奏の習得過程より－」青森中央短期大学紀要、2018年、77-86頁.
- 2 吉田文「子どもの表現活動を育む即興演奏の方法について－保育内容「表現」との関連性から－」名古屋女子大学紀要、2017年、349頁.
- 3 松井紀和『音楽療法の手引－音楽療法家のための－』、(株)牧野出版、1980年、7頁.

【参考絵本】

- 4 ふくべあきひろ 絵／おおのこうへい『たべてあげる』、株式会社教育画劇、2011.
- 5 さくらともこ 絵／中村景児『グリーンマントのピーマンマン』、岩崎書店、1983.
- 6 リンリー・ドッド 訳／広木貴美子『くまくんおきて!』、PHP研究所、2005.
- 7 高島那生『バナナじけん』、BL出版株式会社、2012年.
- 8 エリック・カール 訳／もりひさし『パパ、お月さまとって!』、偕成社、1986年.

【参考文献】

- ・馬杉知佐「保育内容「表現」における即興の指導法－表現とリトミックの関係性－」比治山大学・比治山大学短期大学部教職課程研究、2018年.
- ・木村貴子「伴奏付けの指導方法に関する一考察～カワイピアノグレードテスト6級「伴奏づけ」よ

- り～」青森中央短期大学紀要、2017年.
- ・和田朝美 他「絵本のイメージとピアノ即興表現（その1）－豊かな表現力・感性を育むために－」羽陽学園短期大学紀要、2016年.
 - ・石桁真礼生 他『楽典』音楽之友社、1965年.